

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 7 年 9 月定例会	
議案番号 議案名	認定第 1 号 令和 6 年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について
議員名・会派名等	柿沼光利 無所属
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	皆様、こんにちは！会派無所属 柿沼光利です。 ただいま議題となっております認定第 1 号、令和 6 年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について、委員長報告のとおり、認定することに賛成の立場から討論致します。 限られた時間の中、歳出の主要な成果から総務費では市公式 LINE 構築関係経費において改修前の登録者数約 2 万 2 千人が決算年度末には 3 万 5 千人へ大幅に増加した事や、人口 50 万人到達記念事業では 103 の冠イベント等を実施し市民交流促進にも大きく貢献したことを高く評価致します。 次に民生費では多世代まるごと居場所づくり業務「まつど de つながるステーション」を現在までに 13 地区で開催し、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方、障害のある方、外国人市民など誰もが居場所や役割を持てる地域共生社会の実現の為に、着実な歩みを進めている事も理解できました。また私も視察した児童福祉費の中高生と乳幼児のふれあい体験では、生徒が実際に赤ちゃんを抱っこしながら子育ての体験談を聞く事により、 「出産や命を預かる事が当たり前ではない」との生徒達が触れて感じた貴重な声は、少子化が叫ばれる現代において大変意味深い事業である事も改めて痛感させられました。同じく子どもの体験活動支援事業補助金では貧困対策や自己肯定感の向上を目的に事業者 11 団体へ 105 万 4000 円を交付し体験格差の是正に繋がる成果も確認出来ました。 続いて衛生費の自殺対策事業では人材育成として「ゲートキーパー」を養成する研修を開催、職員や教員、スクールソーシャルワーカーなど 397 人が参加し、令和 6 年度には 1762 件と大幅増加した相談件数も鑑み、今後も継続的かつ丁寧な対応を求めたいと思います。 商工費の中小企業経営関係業務「ビジまど」では相談実績 485 件、相談者 194 名に経営力の強化を図りながら地域経済活性化に向け伴奏支援を実施した事、また若者就労支援業務の就職氷河期世代キャリア支援プログラムでは 3 つの柱として「セミナー」

	「個別相談」「マッチングイベント」を通じ、事業参加総数 264 名、正規就職者数 19 名の実績との答弁から、地道な取組の成果が確認できました。次に土木費の交通バリアフリー推進事業、京成松戸線「松戸新田駅」の内方線付き点状ブロックが令和 7 年 3 月の設置完了により、市民の交通環境に寄与する取組には大変感謝を致します。 続いて消防費の救急車両整備事業では、令和 6 年度の救急出場件数 31585 件に対して救急隊を 13 隊から 14 隊へ増隊したことで負担軽減に繋がった反面、夏季期間における熱中症搬送件数が過去最多を記録するなど社会環境や気候変動の影響に起因する救急需要は依然として高い水準の為、今後も救急活動体制の整備強化を願います。 最後に教育費の夜間照明設置工事設計委託料では令和 7 年 7 月より松戸第二中学校の校庭で工事が開始し、令和 8 年 4 月の市民利用に向け学校側との入念な協議や順調な進捗状況も確認ができました。更に児童生徒活動支援業務「夢の教室」委託料 1073 万 6000 円では、市立小学校 5 年生 122 クラス 3715 人を対象に様々な競技で活躍するアスリートを「夢先生」として迎え、ゲームやトークを通じ「夢を持つことや仲間と協力する大切さ」を学び、子ども達が目をキラキラさせた貴重な時間には、子を持つ親としても本市の未来が楽しみになる事業です。 この度の決算においても、多くの施策を通じて市民生活の質を高め、更に地域の発展に繋がる実績や成果を生み出したことは、いち議員として誇りに思うのと同時に高く評価させていただきます。以上の事から、本定例会に上程された認定第 1 号について、妥当であると判断し賛成と致します。 皆様の満場の御賛同をよろしくお願いいたします。ご清聴誠にありがとうございました！
--	--